令和4年 第5回(定例)南部町議会会議録(第2日)

令和4年9月9日(金曜日)

議事日程(第2号)

令和4年9月9日 午前9時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議事日程の宣告
- 日程第3 議案第57号 南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第4 議案第58号 南部町児童福祉手当支給条例の一部改正について
- 日程第5 議案第59号 令和4年度南部町一般会計補正予算(第3号)
- 日程第6 議案第60号 令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第7 議案第61号 平成4年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第8 議案第62号 令和4年度南部町病院事業会計補正予算(第1号)
- 日程第9 上程議案に対する質疑
- 議案第45号 令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第46号 令和3年度南部町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第47号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第48号 令和3年度南部町墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第49号 令和3年度南部町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第50号 令和3年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第51号 令和3年度南部町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第52号 令和3年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第53号 令和3年度南部町太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第54号 令和3年度南部町水道事業会計決算の認定について
- 議案第55号 令和3年度南部町病院事業会計決算の認定について
- 議案第56号 令和3年度南部町在宅生活支援事業会計決算の認定について

- 議案第57号 南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案第58号 南部町児童福祉手当支給条例の一部改正について
議案第59号 令和4年度南部町一般会計補正予算（第3号）
議案第60号 令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第61号 平成4年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第62号 令和4年度南部町病院事業会計補正予算（第1号）
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 議事日程の宣告
日程第3 議案第57号 南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
日程第4 議案第58号 南部町児童福祉手当支給条例の一部改正について
日程第5 議案第59号 令和4年度南部町一般会計補正予算（第3号）
日程第6 議案第60号 令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
日程第7 議案第61号 平成4年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
日程第8 議案第62号 令和4年度南部町病院事業会計補正予算（第1号）
日程第9 上程議案に対する質疑
議案第45号 令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第46号 令和3年度南部町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第47号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第48号 令和3年度南部町墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第49号 令和3年度南部町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第50号 令和3年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第51号 令和3年度南部町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第52号 令和3年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第53号 令和3年度南部町太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第54号 令和3年度南部町水道事業会計決算の認定について

- 議案第55号 令和3年度南部町病院事業会計決算の認定について
議案第56号 令和3年度南部町在宅生活支援事業会計決算の認定について
議案第57号 南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案第58号 南部町児童福祉手当支給条例の一部改正について
議案第59号 令和4年度南部町一般会計補正予算（第3号）
議案第60号 令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第61号 平成4年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第62号 令和4年度南部町病院事業会計補正予算（第1号）

出席議員（14名）

1番 埴田光雄君	2番 加藤学君
3番 荊尾芳之君	4番 滝山克己君
5番 米澤睦雄君	6番 長束博信君
7番 白川立真君	8番 三鴨義文君
9番 仲田司朗君	10番 板井隆君
11番 細田元教君	12番 亀尾共三君
13番 真壁容子君	14番 景山浩君

欠席議員（なし）

欠員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	田子勝利君	書記	赤井沙樹君
		書記	高雄勇飛君

説明のため出席した者の職氏名

町長	陶山清孝君	副町長	土江一史君
教育長	福田範史君	病院事業管理者	足立正久君
総務課長	大塚壮君	総務課課長補佐	石谷麻衣子君

企画政策課長	田村 誠君	デジタル推進課長	美甘 哲也君
防災監	田中 光弘君	税務課長	三輪 祐子君
町民生活課長	渡邊 悦朗君	子育て支援課長	芝田 卓巳君
教育次長	岩田 典弘君	総務・学校教育課長	水嶋 志都子君
病院事務部長	山口 俊司君	健康福祉課長	前田 かおり君
福祉事務所長	泉 潤哉君	建設課長	岡田 光政君
産業課長	藤原 宰君	監査委員	仲田 和男君

午前 9 時 0 0 分開議

○議長（景山 浩君） これより会議を開きます。

ただいまの出席議員数は 14 人です。地方自治法第 113 条の規定による定足数に達しておりますので、延会としていました会議を開きます。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（景山 浩君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、次の 2 人を指名いたします。

8 番、三鴨義文君、9 番、仲田司朗君。

日程第 2 議事日程の宣告

○議長（景山 浩君） 日程第 2、議事日程の宣告を行います。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。

日程第 3 議案第 57 号 から 日程第 8 議案第 62 号

○議長（景山 浩君） 昨日 8 日の会議に引き続き、町長より提案理由の説明を求めます。

日程第 3、議案第 57 号、南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてから、日程第 8、議案第 62 号、令和 4 年度南部町病院事業会計補正予算（第 1 号）までを一括して説明を受けたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 御異議なしと認めます。よって、日程第 3、議案第 57 号から日程第 8、議案第 62 号までを一括して説明を受けます。

町長から提案理由の説明を求めます。

副町長、土江一史君。

○副町長（土江 一史君） 副町長でございます。議案書13ページをお願いいたします。議案第57号、南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてです。

次のとおり南部町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて、地方自治法第96条第1項第1号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、必要な規定の整理を行うとともに、国の非常勤職員と町の非常勤職員との間に均衡を失しないようにするため、条例の一部を改正しようとするものです。

改正の内容は、育児休業、育児参加のため、産後パパ育休の要件緩和、子が1歳以降の育休をより柔軟に取得できるようにするものです。

具体的には、次の4点を改正します。1つ、非常勤職員がその育休する子の出生の日から57日以内に育児休業をしようとする場合、これが産後パパ休暇と呼ばれるものです。の要件のうち、子の出生の日から57日間の期間の末日から六月を経過する日までに任期が満了すること及び任命権者を同じくする職に引き続き採用されないことが明らかでないこととします。これにより、任用される可能性がある場合の育休の取得が、子が1歳六月に対する日以降から短縮されることとなります。

2、非常勤職員が、その子が1歳6か月または2歳に達する日まで育児休業をすることができるとして、その配偶者が一定の事由に該当して地方等育児休業をする場合であって、当該地方等育児休業の期間の末日とされた日の翌日以前の日を育児休業の期間の初日とする場合を追加することとします。これにより、夫婦いつでも途中で交代できるようになります。

3つ、職員が再度の育児休業をすることができる場合の特別の事情から、育児休業等計画書により申し出た場合で、育児休業の終了後、三月以上の期間を経過したこととの事情を削除します。これにより、三月という期間を空けることなく再度取得できるようになります。

4つ、職員が再度の育児休業をすることができる場合の特別の事情のうち、その任期の末日を期間の末日とする育児休業をしている非常勤職員が、当該任期が更新されること等に伴い、当該更新前の任期の末日の翌日等を育児休業の期間の初日とすることとの事情について、その対象職員を非常勤職員から任期を定めて採用された職員に拡大することとします。

この条例は、令和4年10月1日から施行することとしております。御審議よろしく申し上げます。

続きまして、議案書 18 ページでございます。議案第 58 号、南部町児童福祉手当支給条例の一部改正についてです。

次のとおり南部町児童福祉手当支給条例の一部を改正することについて、地方自治法第 96 条第 1 項第 1 号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

これは税制改正において、給与所得控除、公的年金等控除について 10 万円引き下げるとともに、基礎控除を 10 万円引き上げることとされたことに伴い、所得情報を活用している児童福祉手当制度において、意図しない影響及び不利益が生じないように条例の一部を改正しようとするものです。

具体的には、所得制限を規定している第 8 条第 2 項の改正を行います。給与所得及び公的年金等に係る所得が含まれるときは、当該所得から 10 万円、合計額が 10 万円に満たない場合は当該合計額を控除することを後段として加えます。この改正により、給与所得、公的年金等所得がある受給者の方に対して、従来と同様の取扱いを行おうとするものです。

この条例は、公布の日から施行し、令和 4 年 7 月 1 日から適用することとしております。

以上、御審議よろしくお願いたします。

○議長（景山 浩君） 総務課長、大塚壮君。

○総務課長（大塚 壮君） 総務課長でございます。そういたしますと、一般会計の補正予算の説明をまいります。補正予算書のほうを御確認をお願いします。

.....
議案第 59 号

令和 4 年度南部町一般会計補正予算（第 3 号）

令和 4 年度南部町の一般会計補正予算（第 3 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 243,850 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 8,011,221 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

（債務負担行為）

第 2 条 地方自治法第 214 条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第 2 表 債務負担行為」による。

（地方債の補正）

第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和4年 9月 8日

提出 南部町長 陶山清孝

令和4年 9月 日

決 南部町議会議長 景山 浩

.....

そういたしますと、5ページをお願いします。第2表の債務負担行為でございます。新総合行政システム構築等に係るデータ抽出事業は、期間が令和5年度、限度額が1,133万円となります。新総合行政システム構築等事業は、期間が令和4年度から令和10年度、限度額は2億7,936万円とするものです。これらにつきましては、この後、歳出の補正予算で出てまいります電算管理事務費におきまして、現在の基幹システムのコスト縮減等を図るため、近隣自治体とのシステム共通化に要する経費に係るものでございます。外国語指導助手（ALT）派遣等委託業務は、期間が令和5年度から令和7年度、限度額は3,600万円とするものでございます。

続きまして、第3表、地方債補正です。1、変更として、起債の目的は、道路整備事業。限度額を6,520万円から6,250万円に変更するものでございます。起債の方法、利率、償還の方法については、補正前と同じでございます。

次に、歳出予算から主なものを説明いたします。9ページをお願いします。人件費に関するものにつきましては、職員及び会計年度任用職員の人件費の確定等によるものでございます。後ほど給与費明細書にて説明をいたします。

2款総務費、1項総務管理費、7目財産管理費です。3,963万1,000円増額し、2億1,543万7,000円とするものです。これにつきましては庁舎等管理費におきまして電気料金等の値上げに係る不足分の増額をするものと、先ほど債務負担行為の設定で触れましたけれども、電算管理事務費におきまして基幹業務システムのコスト縮減を図るために近隣自治体とのシステム共通化に要する経費を計上するものでございます。

続きまして、13ページをお願いします。4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費でございます。3,465万4,000円増額し、1億2,366万5,000円とするものでございます。これは新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業におきまして、オミクロン株対応ワクチンの追加接種を行う経費を増額するものでございます。

14ページ、同じく4項病院費、1目病院費でございます。1,462万6,000円増額し、5億8,778万1,000円とするものです。これにつきましては西伯病院が行います新型コロナウイルス感染症対策、これに要する経費に対して繰り出すものでございます。これにつま

しては新型コロナウイルスの地方創生臨時交付金を充当したいと思っています。

5 款農林水産業費、1 項農業費、5 目農業振興費です。1, 376 万 4, 000 円増額し、2 億 3, 505 万 9, 000 円とするものです。汗かく農業者等支援事業は、令和 4 年度に限って補助率のかさ上げを行いました。機械整備に対するものです。これに対する補助金の交付に伴います増額となります。これも先ほどと同様、新型コロナウイルスの交付金を充当したいと思っています。

15 ページをお願いします。がんばる農家プラン事業は、認定農業者の経営計画が県の補助事業に採択をされたら、このことによる増額となります。また、南部町農林業基盤整備補助金は、今後補助金の申請が見込まれるため、増額が必要になります。

6 款商工費、1 項商工費、1 目商工振興費でございます。1 億 871 万円増額し、1 億 1, 717 万 9, 000 円とするものです。これにつきましてはコロナ禍において燃料をはじめとする物価高騰により、住民生活や経済活動に影響を及ぼしていることに対する緊急支援といたしまして、本町独自に町民 1 人当たり 1 万円の商品券を配布しようとするものです。今回の予算では歳入のほう、一般財源を充当するようにしております。今後、国の計画に認められましたら新型コロナ臨時交付金を充当したいと思っています。

16 ページをお願いします。7 款土木費、2 項道路橋梁費、3 目道路維持費でございます。200 万円を増額し、6, 622 万円とするものです。これにつきましては積雪時の通行に支障を来す立木の伐採撤去する費用を増額するものでございます。

18 ページをお願いします。9 款教育費、3 項中学校費、1 目学校管理費でございます。795 万 5, 000 円増額し、6, 193 万円とするものでございます。これは中学校管理費におきまして電気料金の値上げ等により不足分が見込まれるため増額するものと、それとコンピュータ整備事業におきまして耐用年数を経過した公務用のパソコンを更新するといったものでございます。これにつきましても新型コロナウイルスの交付金を充当したいと思っています。

同じく 4 項社会教育費、1 目社会教育総務費でございます。284 万 3, 000 円増額し、1, 948 万円とするものです。これにつきましては成人式をより安心・安全に開催するために、参加者に対して PCR 検査を実施する費用を計上するものでございます。これにつきましても同様、新型コロナウイルスの交付金を充当したいと思っています。

次に、歳入を御説明いたします。7 ページをお願いします。主なものを説明してまいります。14 款国庫支出金、1 項国庫負担金、2 目衛生費国庫負担金でございます。1, 605 万 3, 000 円増額し、3, 343 万 8, 000 円とするものでございます。これは歳出のほうで説明い

たしました新型コロナワクチン接種体制確保事業に係る国庫負担金でございます。

同じく2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金です。3,112万1,000円増額し、3億404万1,000円とするものです。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として、歳出で説明した事業に充当したいと思っています。

同じく3目衛生費国庫補助金です。2,135万1,000円増額し、5,966万円とするものです。これも新型コロナワクチン接種体制確保事業に係る国庫補助金となります。

15款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金でございます。887万4,000円増額し、1億9,255万7,000円とするものでございます。歳出側の農業費の関連事業に伴います県の補助金でございます。

8ページをお願いします。19款繰越金、1項繰越金、1目繰越金でございます。1億6,384万円を増額し、2億2,355万2,000円とするものです。これにつきましては予算の調整となるものでございます。

次に、21款町債、1項町債、4目土木債でございます。270万円減額し、7,010万円とするものでございます。これは橋梁の長寿命化改修事業における事業費の減額に伴うものでございます。

次に、20ページをお願いします。20ページには給与費の明細表をつけています。1、特別職の給与費です。給与費と共済費の合計は、37万4,000円の減額となります。これにつきましては人事院勧告による期末手当の減額によるものでございます。

続いて、21ページをお願いします。2の一般職の給与費でございます。冒頭申しましたとおり、人事異動や会計年度任用職員の確定等によりまして人件費の増減を行っております。給与費と共済費の合計は、1,082万9,000円の増額となります。手当の内容についてはお読み取りをいただきたいと思っています。

22ページをお願いします。22ページは、総括の内容として上げております。アについては会計年度任用職員以外の職員、イにつきましては会計年度任用職員について載せております。御確認をお願いします。

23ページには給料及び職員手当の増減額の明細を載せておりますので、またお読み取りをいただきたいと思っています。

24ページを御覧ください。地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書でございます。当該年度末現在高見込額は、普通債、災害復旧債、臨時財政対策債合わせまして、63億7,001万7,000円となります。

以上、御審議をよろしく申し上げます。

○議長（景山 浩君） 建設課長、岡田光政君。

○建設課長（岡田 光政君） 建設課長です。私のほうからは、農業集落排水事業、それから公共下水道事業の2つの特別会計の補正予算につきまして御説明をさせていただきたいと思います。

それでは、農業集落排水事業のほうから説明を行います。予算書のほうで説明したいと思いますので、1ページを御覧ください。

議案第60号

令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

令和4年度南部町の農業集落排水事業特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,179千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ233,179千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和4年 9月 8日

提出 南部町長 陶山清孝

令和4年 9月 日

決 南部町議会議長 景山 浩

今回の補正は、本年度7月にし尿単価のほうが改定になりまして、それに伴います農業集落排水処理場の汚水清掃費が増額になるために補正をお願いするものでございます。

それでは、歳出のほうから御説明いたします。4ページの、開いていただきまして、下段を御覧ください。1款総務費、1項総務管理費、2目維持管理費117万9,000円を増額し、6,623万1,000円とするものです。

次に、歳入について御説明します。4款繰入金、1項繰入金、1目一般会計繰入金117万9,000円を増額し、1億122万1,000円とするものです。

以上でございます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

続きまして、公共下水道事業特別会計の補正予算について御説明をいたします。補正予算書の1ページをお願いします。

.....

議案第 6 1 号

令和 4 年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

令和 4 年度南部町の公共下水道事業特別会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1, 9 0 8 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 7 2, 1 0 8 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 9 月 8 日

提出 南 部 町 長 陶 山 清 孝

令和 4 年 9 月 日

決 南部町議会議長 景 山 浩

.....

今回の補正は、移動脱水車の修理等に伴います日吉津村ほか 2 か町下水道協議会の負担金の増額と、人件費の補正をお願いするものでございます。

歳出のほうから御説明します。4 ページの下段をお願いします。1 款総務費、1 項総務管理費、1 目一般管理費 1 4 2 万 4, 0 0 0 円を増額し、1, 4 2 6 万 3, 0 0 0 円とするものです。

2 目維持管理費は 4 8 万 4, 0 0 0 円を増額し、5, 9 3 2 万 1, 0 0 0 円とするものです。

次に、歳入について御説明します。4 款繰入金、1 項一般会計繰入金、1 目一般会計繰入金、1 9 0 万 8, 0 0 0 円を増額し、7, 2 9 2 万 2, 0 0 0 円とするものです。

以上でございます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

○議長（景山 浩君） 病院事業管理者、足立正久君。

○病院事業管理者（足立 正久君） 病院事業管理者です。私のほうからは、病院事業会計の補正予算について説明をさせていただきます。病院事業会計補正予算書を御覧いただきたいと思えます。1 ページをお願いします。議案第 6 2 号、令和 4 年度南部町病院事業会計補正予算（第 1 号）。

総則。第 1 条、令和 4 年度南部町病院事業会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

収益的収入及び支出。第 2 条、予算第 3 条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり

補正する。

収入。第1款病院事業収益、第2項医業外収益を156万円増額し、病院事業収益を24億8,508万1,000円とするものであります。

また、支出につきましては、第1款病院事業費用、第1項医業費用を同じく156万円増額し、病院事業費用の総額を24億8,508万1,000円とするものであります。

資本的収入及び支出。第3条、予算第4条に定めた本文括弧書きを、(資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億2,383万8,000円は過年度分損益勘定留保資金をもって補填するものとする。)に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

2ページ目を御覧いただきたいと思います。収入。第1款資本的収入、第1項補助金を6,665万5,000円増額し、資本的収入総額を1億5,623万2,000円とするものであります。

また、支出につきましては、第1款資本的支出、第1項建設改良費を6,665万8,000円増額し、資本的支出の総額を2億8,007万円とするものでございます。

次に、債務負担行為でございます。第4条、地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

下のほうに表で入れておりますが、給食委託費ほか合計7件の債務負担行為をお願いしております。いずれも翌年度当初から業務が発生する委託業務に関する経費でありまして、前年度中にこの契約を締結する必要の生じるものについての支出負担行為であります。期間はいずれも令和5年度から令和7年度までの3か年間、限度額はそれぞれ限度額欄に記載しておるとおりでございます。

次に、補正予算の内容の概要について説明をしたいと思います。8ページを御覧いただきたいと思います。最初に、収益的収入及び支出についてでございますが、町からの補助金を活用し、コロナウイルス感染防止対策を強化するため、オンライン面会やウェブ会議に要する機器の整備、また、オンライン面会室の改修整備を行うためのものでございます。

次に、9ページを御覧いただきたいと思います。資本的収入及び支出につきましては、町からの補助金、それから県からのコロナ医療体制充実等の補助金、また、同じく県からの医療施設等設備整備費補助金、これは、へき地拠点病院に関する補助金でございますが、これらの補助金を活用しまして、大腸ビデオスコープでありますとか、上部消化管ビデオスコープ等の医療機器の更新を行い、医療の質の向上を図るとともに、コロナウイルス感染対策の防止を強化するために、外来待合室のロビーチェア等の更新を行うものでございます。

4 ページ以降に補正予算の実施計画書、予定キャッシュ・フロー、予定貸借対照表を記載しておりますので、御覧いただければと思います。

以上、御審議よろしく申し上げます。

○議長（景山 浩君） 提案説明が終わりました。

日程第9 上程議案に対する質疑

○議長（景山 浩君） これより、日程第9、上程議案に対する質疑を行います。

質疑に当たっては、議事の進行上、昨日8日に提案説明のあった議案を含めた提案順に行います。

質疑は、会議規則第54条第1項に規定されているとおり、簡明に、かつ、疑問点のみについて行ってください。

また、個別質疑につきましては、予算決算常任委員会で行うこととなりますので、総括的な質疑のみをお願いします。

付け加えて申し上げますが、会議規則等で、質疑は自己の意見を述べることはできない、そして総括的質疑とは、横断的なものや全般的なものであり、委員会で聞けることは委員会で聞くこととなると定められておりますので、十分に御留意をいただきたいと思っております。

議案第45号、令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。
13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 令和3年度の決算についてお聞きいたします。聞きたいことが5点あります。

まず、第1点目は、地方交付税の問題です。町長にお聞きいたします。決算資料の12ページでは地方交付税の推移が示されています。令和3年度32億1,693万8,000円で、このうちいわゆる臨時財政対策債の発行可能金額が1億6,787万6,000円で、3年度は臨時対策債が1億2,180万を使っているという決算が出ています。

町長にお聞きするんです。よく住民からいろんな要望とか、議会での要望のときに、財政問題、お金がないということが言われてきています。なかなか、自主財源の乏しいところではお金をつくるの大変ですが、地方交付税の性格がここに書かれてあるように、やはり標準的な水準の業務を行うためということで国が保障している制度ですから、今回も様々な理由書いてありますよね。町民税や固定資産税が大幅に減少したこと等によってこの地方交付税が増えてくると、これはごく当然のことやと思うんですね。そういうことを考えたときに、合併してかなり地方交付税が少

なくなって大変なんだ、大変なんだって言って、住民の要求のときに言うんですけども、この金額ですね、町長はどう思われますか。今までの過去、これ24年から書いてあるんですけども、地方交付税の推移としては、これは全国的には知事会等の、いわゆる市町村長会等の奮闘もあって維持されているというふうに見ているのかどうかという点ですね。いわゆる住民要求に応えられる制度としては機能してるのではないかというふうに思うんですが、その点はどのようにお考えかということが1点目です。

2点目は、SDGsとかで言われていたり、町村での一番改善策としての、職員の中での格差の問題での会計年度任用職員の改善の問題で、令和3年度はどこまで寄与したのかということ町長にお聞きしたいと思います。これも決算資料で分かりやすいのは6ページに出てきておりまして、人件費を見ると、前年対比で会計年度任用職員の給料が2,297万9,000円、会計年度任用職員関連の職員手当、また共済組合等については5,000万近くの増が前年対比しているわけです。数字を見ると約3分の1を超える会計年度任用職員で、それが増えているという現状です。

一方、これまで何回か指摘させてもらっております。例えばお金が入ってくる地方自治体の中で最も大切な仕事であると言われる税務課関係では徴収吏員の2名が会計年度任用職員でいるという事態も起こっているわけですね。それと、専門職であって、本来はしっかりとした給与を出さなければ労働再生産が追いつかないという、いわゆる資格所有者についての待遇も会計年度任用職員の間ではなかなか保障されていないって問題があります。例えば保育士、それから図書館司書ですね。このようなことが従来からも指摘されておまして、今回も組合等を通じて陳情も上がっているわけです。それを町長は今回、令和3年度の決算を見ながら、このことに対してどういうふうには是正したのかと。是正しないとすればどこに原因があるのか、国の問題は第一義にあると思うのですが、町独自で努力しなければいけないということは何と考えてるかということをお聞きいたします。

3つ目は、これはキナルなんぶの問題です。細かいことではなくて、町長に全般的に使用料とは何を指すかということをお聞きしたいんです。キナルなんぶでは当初予算、公民館費として4万円が計上されていましたが、決算では69万の金額が出ています。確かに前回は新聞で出たように、キナルなんぶについては利用者が本当に多いということは歓迎すべきことと思いますが、ここで言う公民館費、使用料というのは、会議等をするときに使用料として払う金額のことを言ってるわけです。これが公民館活動とか、町が指定されたところでは無料で使えるけれども、一般住民はじめ、事業者であろうが何であろうがお金を取るという仕組みになっているわけです。

自分の意見を言ったらいけないという、一町民の意見として高いという声が出ています。例えば半日使えば、半日である一番広いところで8,000円近くのお金が要ってくるわけですね。

例えばどのようなことに使ったかという、本来西部広域が説明しなくてはいけないような説明会を、西部広域を招致して、この会を住民が催せば八千幾らかかるわけです。これが、町がやってくれたら無料でできるわけですね。そういうことを住民が負担しながらやっていくときに不公平さを感じているとは自分の意見か、不公平さが生じるのではないかと思ってるわけです。少なくとも町の中によってもこの金額の差があるというのは建物、仕方がないと思うのですが、住民の自主的な活動を保障していく、文化、教育活動ですね、そういうことについては配慮があってはいいのではないかと考えるのですが、町長、是正するつもりはないのでしょうか。非常に高いという点について町長の見解をお聞きして、委員会でも教育委員会に迫りたいと思いますので、町長の見解をお伺いいたします。

4つ目、今回の決算のこれは処遇改善、金額加算が出ていました。これはちょっと置いときましょう。4つ目、地方創生の問題です。今回、地方創生の交付金として国から3,663万、拠点整備事業として7,299万、約1億円近くのお金が入っています。拠点整備については町のお金が要りませんが、地方創生交付金で3,663万の、ほぼ等しい金額を出して活動に使っているわけですね。どの文書を見ましても、国の地方創生は都心部への一極集中避けて、地方に人口等を移動させていく、企業等を移動させていくということは、ここ何年間かやってきても決して成功していなかった。なぜならば一極集中がますます進んだからだという論調になっています。政府としては、置き換えではないですけども、これに代わるものとして今度デジタル田園都市国家構想、これに、こういうところに交付金を当て込み、今度町もそれに乗って動いているわけです。ここで町長、国が地方創生交付金も出しながら田園都市国家構想も出しますよと乗っているんですけども、地方創生交付金を充当させた事業についての成果はどうであったのか、このことが要ると思いませんか。確かに人口増は大事なことであってでも、そこに住む一般住民へのサービスと差があるようなことについては住民が納得しないわけです。そういう点でいえば、今回、当時は示された、一体1人呼ぶのに、1人人口増やすのに総額幾らとお金かけたんだと、最初目標がありましたよね。その点について比較、対効果も含めてそれを出す必要があると思うのですが、その点についてどのようにお考えでしょうか。

次の点として、地域振興協議会に対する交付金の問題です。今回も地方創生交付金の金額として前年同様の金額が出ていますが、特に今回はこれどこともあったと思うんですけども、コロナでなかなか事業ができなかった。地域振興協議会の交付金については今までの経過もありまして、

残ったお金の5%以上でしたか、返さないといけなくなっている。恐らく結構返ってきたのではないかと思うんですけども、個々で、それ委員会で結構ですから出してほしいと思っているのと同時に、地域振興協議会の在り方の問題ですよね。決して行事ばかりしているのではないと思うし、どんなふうにしていくことがいいのかという点と、ここで働いてる事務の職員を合わせて14名プラス15名が、いわゆる特交で来ている金額の、集落支援員としてしてる方が14名いるわけですよね。この集落支援員の使い方っていうのにかなり私、疑義を持っているわけです。その方々を地域振興協議会が採用するという形で、給料保障として会計年度任用職員制度を使っているわけですよ。住民の中から、本当に住民のための仕事をしてもらうというのであれば、地域振興協議会採用ではなくって町採用として、公務員として働けるようにするべきではないかという意見も出ていますが、町長はこれに対してどう思うのかということと、先ほどの事業で縮減された金額を出していただきながら、地域振興協議会の地域が果たす役割というのはどういうことがあるのか、今回の減になったことも含めてお伺いしたいと思います。以上です。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。まず、交付税のことについて町長はどう思っているのかということです。御存じのとおり、合併以来今年が17年目になると思います。合併特例債は10年、それから5年間の暫時、落ちていって結局15年で一本算定になるという制度でございました。私も合併以来この特例債が減っていくことに対して15年以降、15年になりましたのが令和2年でございます。それ以降の財政運営というものを議会の皆さんと慎重に、そして持続可能な南部町をどうこれから育てていくのかということに配慮してきたつもりでございます。皆さんの毎年の課題もきっと、財政面であってはその問題ではなかったでしょうか。少し時間がたったために、さらにはコロナのために財政が、国からの支援等がかなりこの近年多かったことでこの数字が少しぶれてきています。

しかし、根本は同じでして、例えば10年後、合併算定だったときの臨財債も含めた南部町のこの交付税、普通交付税と特別交付税、臨財債合わせたものが37億9,000万でした。それから5年たって2020年ですから令和2年ですね、このときが5年たって3億減額になりました、34億9,000万。いわゆるこの合併算定から一本算定になって3億円落ちたわけです。ですから、私たちはこの3億円落ちたということに対して町としてのマネジメントということを常に考え続けなければいけないと思っています。

今回、幸い基金の積立てということもできました。これまでこのことに備えて基金をためてきたものを、基金を使い続けてきたわけですけども、少し国の、コロナであったり、そういう配

慮による交付税が緩かったということによって今回はそういうことになったんだろうと思っ
てます。今回、令和3年度あれば、臨財債も含めて39億2,000万でございますので、前年に対
して5億円から増えているわけです。5億円も増えれば、それは非常に楽なマネジメントができ
るということは当然なんですけれども、今後、将来のことを考えれば、必ずこんな状態で済むわ
けはないわけですし、やはりきちんとした財政運営ということを考えていかななくては行けないと
改めて考えています。

2つ目に、会計年度職員だとか専門職のことについて御質問いただきました。できるだけ職員
が多いほうが私も心強いですし、いい行政ができるということは、これは私もそうだと思います。
しかし、一方で、安定したマネジメントをするためには相対とする南部町の人口と、皆さんの専
従職員として雇っていただく職員数というのは、人口が減れば当然減っていかねば行けない
と思っています。しかし、一方で、南部町の職員構成は50代の職員が非常に少ない状態にあり
ます。団塊ジュニアが今ちょうど50歳ぐらい前後におるんでしょうか、あの辺りが非常に多く
占めていますので、この職員群が一気に退職をしたときに備えながら、今、安定したその後の体
制を維持するために、少し皆さんに御無理を申しながら職員体制を補強してきてます。若い職員
を苗木として行政の中に植え込んでいって、10年もすればこの50代の職員たちが一回退職を
迎えるような時代、65歳がこれから退職年齢になるかもしれませんけれども、そのときにしっ
かり第一線で戦えるような職員に育てていける、そういうような考えで少し今は採用人数のほう
が退職人数より増えているということでございますが、10年後から15年後ぐらいにはその辺
りがなだらかに減っていくような傾向になっていくだろうと思っております。その中で専門職をどう配
置していくのかというのは、これは重要な問題でございまして、できるだけ採用はしたいので
すけれども、将来の南部町の財政規模、人口、そういうサービスを提供する皆さんの状況を十分勘
察しながら人事のマネジメントをしていかなきゃいけないと、このように思っています。

3点目、キナルなんぶでございます。キナルなんぶに大変、19万人の皆さんが御利用いただ
いたことに大変うれしく思っています。私も前から言ってますように、図書館機能というのは世
界各国見ても住民に対する最大のサービスだと思っています。無料で本、教育、そしてサードプ
レースとして提供できる、こういう非常に豊かな社会の中であっては、住民が一番幸せに近い場
所につながるのではないかと思います。皆さんに有効に使っていただきたいという思いを持っ
ていますので、今後とも利用ができるような体制を取りたいと思っております。

あと、公共料金の使用料の問題ですけれども、これは相対的に全ての公共施設の料金について、
公共料金審議会等もありますので、そういうところで第三者機関として判断をいただくことも必

要ではないかと思っております。なぜかといいますと、例えばお風呂の利用料が60歳を超えると1000円で今、利用が可能です。しあわせであったりいこい荘であったりの部屋の代金、料金、こういうことの料金についても合併以前の料金をそのまま引き継いでいます。想像ですけども、30年来変わってないというようなものもあるのかもしれませんが。これでいいんだということであればそれでいいんでしょうけれども、その負担部分が全て次の次世代につながると、これもまた大きな、持続可能な社会を維持するためにも困難になってきますので、ぜひそのような不公平感、世代間の不公平感がないようにしなければならないと思っております。

4点目は、地方創生交付金の成果の検証が必要ではないかという御意見でございました。私もそうだと思います。改めて地方創生に対する成果検証というものはしなければいけないと思っております。人口がどこからどういう具合に動いて、その効果というのはどうだったのか。私の近隣にもこの夏、若い御夫婦とお子さん来られましたけれども、地域にとっては非常にありがたい存在になろうと思っております。そういうことがその地域の中でどんな効果を上げていくのかということも、やはり全体的な人の動き、人数、頭数だけではなくて、いろいろなことに与える効果というものを多面的に検証することは必要だろうと思っております。

5点目、地域振興協議会のことです。小規模多機能自治として進んでいます。今、200を超える大小の自治体が小規模多機能自治ということで進んでおります。これはどんどん今でも増え続けています。今、この小規模多機能自治というものを否定するような自治体はまずないということ先週も聞いてまいりました。その中であって自治機能がどうであるのか、私どもはまだ道半ばだと思っております。それは中で、本来は自治として、その中で今まであったような集落自治のような機能がそこで育っていくというものがあるべき理想の姿だと思います。行政がお金でコントロールするようなことは絶対あってはなりませんし、ましてや行政の職員をその中に入れて、行政のコントロール下の中でその地域の中の自治をするということは、私たちが最初に目指したそのものとは少し違うんではないかなと思っております。小規模多機能、まだまだ発展途上でございますので、ぜひ地域の皆さんの自発的な自治機能がうまく育って、中で民主的な運営ができるように陰から、後ろからそっと応援するということが理想だろうと思っております。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 第1点目の地方交付税については、町長は今、コロナ等で様々なお金が出てきて持っているけども、長期的に見たら決してそうではないのだったということをおっしゃられたと思うんです。町長、どこの自治体もそうですけども、合併した自治体と合併しなかった自治体があって、歴史の変遷で、次、どのような事態が起こることか分からない中で、合併

を選択した結果、課題はどう達成されて、どういうところを直さなければいけないのかというところを、これ置いとかないといけないんじゃないかと思ってるんです。人口減になってきたら道州制の問題も必ず起こってくると思うんですが、合併すれば一本算定になってお金が減るっていうの分かったことだったわけですよ。そこに乗ったわけです。乗ったときに、そしたらどうするかっていうところは、やはり少なくとも財源保障は国としてあるべきではないかというのをしっかりと行っていかないといけないと思うし、合併するかどうかっていうのは……。

○議長（景山 浩君） 真壁議員、これは一般質問ではありません。議案に対する質疑です。

○議員（13番 真壁 容子君） はい、分かりました。

地方交付税から見てくる問題といえば、将来にわたってどのような選択がいいのかということも残していきながら考えるべきだというふうに考えていますが、町長は振り返ってみてどういうふうにお考えでしょうかというのが1つ目の問題。

次の会計年度任用職員も職員を増やしたいからやっているというのは、空白の何年間というのが南部町にもあったように思います。いわゆる職員採用の在り方と同時に、職員採用の抜本的な改善がなくては会計年度任用職員の問題とこの格差は是正できないのではないかとということと、もう一つ、格差是正は地方自治体の喫緊の課題であるものですから、会計年度任用職員の格差是正のための動きをつくるべきだと思いますか。それについてどのようにお考えか。例えば現行の会計年度任用職員の仕組みの中でも変えていかないといけないところがあるし、県内でも聞いてたら、5年ではなくて3年でやっているとかって驚いたわけですけども、そういうところがありますので……。

○議長（景山 浩君） 持論の開陳はお控えください。

○議員（13番 真壁 容子君） はい、そういうところをどういうふうに考えているかということをお伺いしたい。

キナルなんぶについての利用料の問題ですが、先ほどお風呂とかどうの出されたんですけども、これは、私は、町と教育委員会が、いわゆる住民の学習する権利をどのように保障していくかの問題の大きな課題だというふうに考えるんですが、町長はその辺どう考えるでしょうか。

少なくとも、例えばキナルなんぶでは地元の誘致企業が使う場合もあるわけですよ。いわゆる企業団体が使っていく場合、こういうところからお金取るにはいいことだと思うんですけども、住民が集まって勉強会をしたいところにお金をかける、それも先ほどおっしゃったように30年間一緒にいいのかって話がありましたが、私は経済成長と条件によると思ってるんです。今、ほとんど学習したいと望んでいる方々が年金暮らしで年金も下がっている中です。相互に自

らやろうとすればそのお金負担していかないといけないわけです。少なくとも全額免除とは言わないですけども、正当な理由がある場合には減免制度を設けるべきだということについて、後ほど委員会では教育委員会に聞くんですけども、町長はどのようにお考えでしょうか。

それから、地方創生の分について町長は、なさると言ったの、ぜひそれは検証していただきたいということです。地域振興協議会についてもいい制度だとおっしゃったんですけども、課題は、特別交付税の中で14人全ての報酬、給与を見ているということですよね。これらの方々が集落支援員としていくためにはかなり無理があるなと思うので、その辺を将来にわたってどう考えているのかという点と、地域振興協議会採用ということで全額特別交付税が出る集落支援員の金額を、仮に町でなくても採用できるということなんだけど、公平性を保てるための町の仕組みはあるのかという点について、これも住民から疑問が出ている。それについてどうなのかということ。地域振興協議会が小規模多機能自治体として全国にあるというのですが、南部町とよその決定的な違いは、南部町の地域振興協議会というのは町が条例で定めた団体なんですよ。だから、町長が幾ら民主的だと言っても、一番民主的にやろうとすればこの仕組みそのものを……。

○議長（景山 浩君） 真壁議員……。

○議員（13番 真壁 容子君） 一番言いたいところです。この仕組みそのものを変えていかなければ、民主的な小規模自治体として発展する障害の一つになるのではないかという点について、どのようにお考えでしょうか。金額が1億以上も出てるもんですから聞いております。非常に大事なところですので、よろしく願いいたします。

付け加えまして、令和3年度の2月、3月に、これは決算のどこに出ているかということをお聞きしたいんですけども、保育士の処遇改善問題で、会計年度任用職員、それから民間、いわゆる伯耆の国の職員の給与が2月、3月から上がっているはずですよ。その分について、その上がった分を幾らと見ているのかということについては、決算の2月、3月分、どこに出てきてるんですか。それをちょっと説明してください。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。たくさんのお質問いただいておりますので、もしポイントがずれていましたらお聞きいただきたいと思います。

交付税について、いわゆる合併でそんなことは分かってたんじゃないかという御意見だと思います。合併の話に、17年前に遡るわけではありませんけれども、合併は一つの手段であったという議論ではなかったかと思います。将来の人口が減少していくこの中にあっても、住民が生き生きとその地域で暮らし続けると、そのための町のサイズは、一時的にはやはり小さいほうがいい

いのではないかと、自分たちの文化や、そして自分たちの暮らしを守るためにそのほうがいいのではないかとということで、会見、西伯の小さな合併を私たちは選んで、今こうやって自治を重ねるといふ点にあると思っています。

その中で、私が3億も落ちたというような話をしました。これももちろん分かっていたことなわけですから、これから将来にかけても、この落ちていくということは分かることなわけですから、これに備えて住民の皆さんと、また議会を中心にしながら、どうやって住民の暮らしを守っていくのかということを中心に考えていくことは必要なことだろうと思っています。小さな合併を選んだと、そしてその責任というのは私たちが持っているわけですから、交付税が落ちていく、もちろん町長としては、国に対して16兆円以上の交付税を確保するんだということは常に言い続けてきてますけども、ちょっとさじ加減を変えれば、15兆5,000億ぐらいのところになってしまえば、もう完全な疲弊だとしてしまいます。

さらには、過疎債の交付団体は、新聞紙上でも出ていましたけれども、どんどん増えていって行くわけですから、県下の中でも本当に、過疎債の不交付団体なんていうのは日吉津と南部町と、あとどこだったですか、本当数限られています。市部なんかでも過疎債の交付団体になっていくことに、全国が人口減少モードの中で、そこが起債充当100%で7割後年度、応援してもらえぬわけですから、絶対なっていないところは割を食うというのはもう当然将来的に分かることです。そういう全体的な制度というものの見直しについては、国に対してしっかりと行っていかなくちゃいけないと思っていますので、その辺は私も思っています。

会計年度の方については、ある世代の中で就職氷河期ですか、そういうような部分で非常に恵まれなかった世代があるということは重々私も承知しています。その方たちをどう仕事と結びつけて安定した暮らしをしていくのかということには、行政として配慮が必要だろうと思っています。いろんな多方面の方法があると思いますけれども、今後ともそのことについては配慮が必要だろうと思っています。

公共料金について、キナルなんぶを基に学習の保障ということがありましたけれども、もちろん学習の保障は大事だと思っています。一方で、かつての公民館教育として、社会教育として皆さんに集まっていただいて勉強をするというニーズが多様になってきていると思うんです。公民館を介さなくても自分たちの仲間同士で勉強会をするだとか、インターネットだとか情報がこれだけ広がってるところですんで、多様な集まりや集団が出てきていますので、あなたは公共的な集まりですね、あなたは公共的ではないですねという線引きって非常に難しくなっていることは確かだと思っています。この辺りのところをどうやって合理的に、真壁議員がおっしゃるような

町民に対する学習の保障であったり、公共施設を利用する保障であったり、それは私も大事なことでだろうと思っています。この辺りのところを今後どういう具合にして保障していくのかということは教育委員会とともに勉強していかなくちゃいけない事項だろうと思っています。

あと、集落支援員のことがありましたけども、集落支援員制度というものを南部町としては利用しながら、地域自治っていう小規模多機能、南部町でいう振興協議会というものを運営の中心にしています。そして、条例であえて決めたのは、公金をそこに追加するからという項目が大きいのだろうと思っています。いわゆる財源を保障することによって自治を保障していくという仕掛けを南部町独自のものを持ってきたものだと思います。

都市部や非常に人口が集中してるところであっては、多様な人材がおられて、さらにはお金もきっとお持ちの方もおられるでしょうし、応援してくれる企業もいるでしょう。そういうところと違って、なかなか財源の保障がない限り、地域の自治というのがうまく回らないということも私どものところでは考えられると思っています。こういうところが今後、地域の自治を運営する上で、行政はどこを応援して、地域の中では自主的にどんなことを中心にやっていくのか、これは常にバランスの問題だと思いますので、集落支援員が地域の中で生き生きと活動できる、そういう振興協議会というものを私どもも応援していきたいという気持ちでは変わりません。ですから、応援する立場ですので、町の職員採用ということは現在のところ考えていません。以上です。

○議長（景山 浩君） 子育て支援課長、芝田卓巳君。

○子育て支援課長（芝田 卓巳君） 子育て支援課長です。公設民営の職員の処遇改善の金額につきましては、決算事業説明書、決算書のほうでは明確には出てきません。指定管理料等の中で包括して、実績で伯耆の国さんのほうからいただくという格好になっております。以上です。

○議長（景山 浩君） 真壁議員、申し上げておきますが、若干の質疑に伴う背景説明ですとか事例引用については、これはもう致し方ないというふうに思いますが、自己の意見との相違をただすということは、もうこれは完全に一般質問の領域に入っておりますので、そこら辺を重々御留意ください。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 努力します。

町長、聞いてまいりました。会計年度任用職員、それから地域振興協議会で働いている集落支援員の職員、これも会計年度任用職員になっています。今の制度の中で彼らを増やしていくと、こういう待遇増やしてくということは、本来、地方自治体が是正しなくてはいけない給与格差と、いわゆる所得向上ですよ、200万以下はなかなか、公務員でもブラックだと言われていまし

たけれども、それすれすれの状況なんですよ。そういうところをつくっていったこと自体が大きな問題だという認識はありますか。特にそこに占める多くが女性です。この是正を今、日本政府も何とかしないとイケない、SDGsと言われていの中で取り組んでいかなければいけないと言われているときに、地方自治体の大きな課題であることを考えれば、ここの対応をどうするかってということ等を考えていく計画を立てなければいけないのではないかという点について、どのようにお考えでしょうか。

2つ目、先ほどの保育士の処遇改善については、課長からああいうふうな意見が出ましたが、町長はどんなふうにお考えですか。処遇改善を行います。加算をやりましたということが、議会の中でもそういうふうと言われていて、前回の議会では、指定管理料の中に入っているもので、それが積み上げなくても大丈夫なんですって言い方をしています。

今、私が質問するのは、住民の中からも、私たちもアンケートも取らせていただいたんですけども、それが十分反映されていないのではないかという声があるから余計聞いていますが、町長、やはりこれは説明しないとイケないことではないでしょうか。令和3年度の決算のどこにあるか分からないではいけないんです。どこに幾ら処遇改善として、国から来るお金ですからね。幾ら使ってるのかということをはっきりさせないとイケないと思いますから、それがここで言えなくても委員会で説明できるのかどうか。説明するまで持っていかないとイケないのではないかと思います。町長、どうお考えですか。最後ですよ。そのことについては答えないとイケない、数字は。もし答えないとすれば答えないと理由を教えてください。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。会計年度職員についてどう考えるのかということだろうと思いますけれども、会計年度職員の人たちが今、南部町にはたしかたくさん公務職場におられます。しかし、果たしてこれ、今後、今、アメリカは大変インフレであえいでます。それは雇用する側のほうも日に日に賃金が上がっていく、物価も上がっていくけども賃金も上がっていく、そういう中であえいでますし、この流れは日本以外は全てがそのような状態になっていると言われてます。GDPが約3%上がった、物価が物すごい上がっていく、賃金の上がりが遅いと言われますけども、間違いなく来年から再来年にかけて賃金上昇は起こるのではないかと今言われています。その中で、私は本当にその公務の仕事が続けていただけるような環境を維持しなければいけないだろうと思いますし、または民間の中にも非常に人材不足であえいでいます。

昨日も町内の某企業来られましたけど、募集をかけても人が来ない、仕事はあるんだけどもラインが動かさないということで非常に悩んでおられました。日本は今、極めて人材が不足するス

ページに入ってきているなと思います。それは特に若い世代の人たちが、特に地方部で仕事を募集しても人が集まらないという状況が生まれています。

その中で、今、会計年度職員の賃金や労働条件の話ありますが、もちろんこれは民間準拠ですので、これからもどんどん上がっていくと思っています。時間給が1,500円になったり1,800円になったりということも起きると思いますけれども、片方で同時に物価も上がっていくわけですし、そういうこれまで30年の中、私たちはデフレの中で何となく、賃金も安定して変わらない中で、安定した正職員と非常勤の職員という構図だけ考えてましたけれども、これからはそういう構図だけでは語れないような状況が生まれるのではないかなと思っています。賃金や労働条件、公務職場の問題も重要な問題ですので、十分にその点を考えながら、適切な人員配置、そして過大な将来負担にならないような人員配置を求めて、適正な定員管理をしていきたいと思っておりますし、会計年度についても同様にそのように考えています。

もう一つ、給与というんですか、処遇改善加算なのか、処遇改善に対して公務員にも加算が来たり、それからゆうらく等のようなああいふ福祉施設について処遇改善加算というのがこの数年間続いています。そのことを聞いておられるんですね。（「2月、3月だけでいいです。ちょっと休憩」と呼ぶ者あり）

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前10時17分休憩

.....

午前10時17分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

○町長（陶山 清孝君） 分かりました。その数字の、どれだけの国費が南部町に入って、それがどんな配分で執行されたかということだと思いますので、委員会の中で説明させたいと思います。以上です。（「ちょっと長期休憩して、長期休憩」と呼ぶ者あり）

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前10時18分休憩

.....

午前10時19分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

ほかに質疑はございませんか。

2番、加藤学君。

○議員（2番 加藤 学君） 加藤です。監査委員会からの報告に関して、丸の2番のところで、審議会の中には開催されない等により意見集約がされてない審議会があったというふうになってます。これ4年以上前だったと思うんですけど、ちょっと私、探したんですが、分かりませんでした。秦議長のときにこの質問しました。そしたら、このときは総務課だけから幾つか回答があってそれで終わったんですが、終わってから後、秦議長からあの後、順番に全部の課に質問したらよかったですよと、私、質問止めませんでしたからってというふうなことを言われたのを覚えてます。

今回も新型コロナってということで審議会がされてないって質問になってるんですけども、各課でどういうふうな状態になってるのか。これ令和3年度のことですから、現在令和4年度なので、昨年よりもコロナに関しては拡大してますが、SNSを使った集会とかそういったやつは逆に広がってます。各課で今、審議会が一体どういうことになってるのかっていうのをそれぞれ予算決算の中で回答いただけたらと思います。

それと、丸の1に関しては、これ各課が課題に対して連携してってというふうなことが上がってるんですけども、これつまり例えば総務課でAっていう課題があり、これに関しては教育委員会と一緒にすればさらに課題が前進するよ、もしくは図るよって意味合いのふうに私、取ったんですけども、これに関してはどこの課にどういう質問をしていいもんかちょっと分からないんですが、この間に関してもどういう課題があるのかって回答をいただきたいというのが2点。

それと、あともう一つ、キナルなんぶのことにに関して、今回、当初の予定よりも来場者が大変ありますよっていうふうになってるんですが、これも明らかにキナルなんぶができたから、その最初の状態なのでこの状態になってるんだと思います。とっとり花回廊、これもできたときは物すごく来場者がありました。今はもう安定した人しか来てないというのが現状です。それから、緑水園に至っても御存じのとおりです。今回、先、キナルなんぶを長期的にどのように展望する、どのように考えてるのか、予算決算のときまでにどういうふうと考えてるのかって回答がいただけたらと思います。以上です。

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前10時22分休憩

午前10時24分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

副町長、土江一史君。

○副町長（土江 一史君） 副町長でございます。食材供給で地産地消ということで、学校とか、それから公共の病院とかそういったようなところで十分に地産地消で地元の農産物が使われてないということではないかと、そのために関係機関で連携を取ってやる必要があるのではないかとというのが監査委員からの御意見というふうに理解しております。この件につきましては、学校関係については、定期的に学校関係とその生産の方と、それから今、給食をやっているところとの連絡会を持ってるといふふうに聞いております。

そのほか、病院のほうについては、今そういった会が設けられてないといふふうに聞いておりますので、その辺のところは連携をするようにまた調整をして、個別に相談をしていきたいと考えております。

○議長（景山 浩君） 2番、加藤学君。

○議員（2番 加藤 学君） 例として学校給食の件が挙げられていますけれども、それ以外の部分であるのではないかっていふふうに私は受け取ったんです、この丸の1に関しては。だから、2つの課以上でまたがって検討したり、行ったほうがさらによくなるよっていう事業があるのではないかっていふのが私の質問なんです。それはそれぞれの課に質問したほうがいいのか、どういふふうに質問したらいいのかっていふのがちょっとよく分からないので、それそもそもあるのかどうかっていふのをそれぞれの課に聞くのほうがいいのか、どういふふうに質問していいのかちょっと私もよく分からないんで、この場でとにかく質問してるんです。

○議長（景山 浩君） 代表監査委員、仲田和男君。

○監査委員（仲田 和男君） 監査委員の仲田です。監査意見に対する御質問ですのでお答えしますと、まず1番ですけども、これは教育委員会、それから産業課が所管する事業でございます。まだそのほかであるっていふのは、それは聞き取りされればあると思います。でも、これが一番的確に連携するための施策の一つであろうという具合に思います。これはここに書いてありますように、それぞれの事業が独自に活動されておると、両方がお互いに課題に対して調整を図れば、食材の提供も増えるでしょうし、それから自給率も増えると、これは監査でした結果の答えでございます。ですから、また各課に聞かればそういうあれはあるんだろうなという具合に思います。

それから、2番目の審議会です。審議会につきましては、それぞれの審議会は各課が所管しております。審議会といいますのは、それぞれの町の施策、政策、そういうものを判断する大きなことですので、ただ、今、さっき言われましたように、ソフトの放送的なもんじゃなしに、そう

いうことができればいいんですけど、できないのが資料送付、そういうことでやられての意見集約が必要であると。それぞれの各課に聞いていただければ所管する人が答えられるという具合に思います。

それから、3番目のキナルなんぶです。これは4万3,000人に対して18万ほどあります。これは造れば必ずそうなるんだろうと思います。でも、これが継続的にやられるというのは、そこに関係する人の努力なんです。ですから、それぞれの施設は、初めはよかったと、それは当然そうだろうと。でも、それを継続していくのがそこに関係する人の努力であるという具合に思いますんで、そこを継続でそれが増えるように努力をお願いしたいという監査意見でございます。以上でございます。

○議長（景山 浩君） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） ないようでしたらここで休憩を入れたいと思います。再開は10時45分といたします。

午前10時30分休憩

午前10時45分再開

○議長（景山 浩君） 会議を再開します。

議案第46号、令和3年度南部町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 令和3年度の国民健康保険の決算についてお伺いいたします。

町長にお伺いいたします。今回、国民健康保険税は、どれを見ると分かりやすいかというのと、監査の資料のページ4のほうでいきましょうか。いわゆる国保の収入未済、滞納の件です。総額、金額いろいろ違いまして、収入未済の決算の審査の段階での数字が出ておりますが、こちらのほうがいいと思いますが、国民健康保険の未収金の問題で、調定額1億9,678万8,800円に対して、収入済みが1億8,934万520円、収入未済が現年度分で744万8,280円起こっており、過年度分と合わせると3,875万1,466円という収入未済、いわゆる滞納の金額が出てきています。この件数等については委員会等でもまたお聞きして、しっかりと審査したいと思うんですけども、町長、国民健康保険税というのは仕組みから御存じのように、所得

のない方からも取っていくという税金ですので、住民から見たら一番払にくいけども一番大切な税になっているわけですが、その中で現年度で744万8,280円の滞納が、未収金が出るということについてどうお考えでしょうか。

特に今回はコロナの影響とか物価高騰の件もありまして、制度としてはコロナ等で収入が減った人に対しての措置というのはあるんですけども、なかなか行き渡っていないようにも思うわけです。制度として、一つは住民の生活を保障するということと、医療というのは命に関わることですから、無保険にすることはできないことを考えたら、確かに所得によって税の金額、それに法定減免もあるんですけども、急に事情が変わったような場合とか、いわゆる町独自の減免施策が必要だというふうに思いませんか。そういう制度をつくるべきではないかというふうに思うのですが、町長はどのようにお考えでしょうか。特に収入未済が出るということは、いろんな仕事にも関わってくるわけですよ。何回も行かないといけない、発行しないといけない、そういうこともあります。

それと、何よりも収入未済、滞納を防ぐという点からも事前の措置というのが大事になってくるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。国保税の滞納と併せて、その原因となっている払えない方に対して何かケアができないのか、または対応、対策は取れないのかということだろうと思っています。

昭和36年から皆保険制度を日本は創設して、国民の健康、生命を保障するという世界的に類を見ない非常にすばらしい保険制度を育んできました。まさに育んできたということなんだろうと思っています。しかし、高齢化が進み、労働人口が減り、そのバランスが崩れて、特に顕著なのが国民健康保険だろうと思っています。

その中で、払えない人に対して、では町が特別な免除制度ができないだろうかという御質問だろうと思っています。これは一つの自治体が特別な制度をした場合に、果たしてそれで不利益を被る他者の皆さんに対して的確な対応が取れるのか、いわゆる法で整備されたものに対して町が小手先の手続で済むのかどうかという問題がまず原点にあると思っています。

国保に対して多様な問題があるということは議会の中でも何度も話し合っていることですので、ただ、そうかといって減免を、法で整備された以上のものを町の中でできると、するべきだという位置には私は立てないと思っています。対話の方法を工夫しながら今もやっているわけですから、ぜひ現制度の中で対応していくことが必要だろうと、当面の間ですけど、そのように思って

います。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町独自の減免制度を取ったりすることが払っている他の者に対しての不公平感を生じさせると、こういう論法をいつも町長はなさっていますが、これは地方自治の中での平等観の考え方ではないというふうに私は考えています。もしそうであれば、そういうことを突き詰めたら、利用する金額は利用する金額だけ払えと、いわゆる受益する者がそれ相当の金額払えということになりますよね。そうじゃないんですよ。国保の制度というのは……。

○議長（景山 浩君） 真壁議員、質疑を行ってください。

○議員（13番 真壁 容子君） 国保制度というのは法定減免があって住民の所得を保障している。なぜなら社会保障制度だからということになりますよね。そういうことから考えたら、他の者に対しての不公平感というのではなくって、やらない理由なのではないですか、町長。町長の言い分も分かりましたが、少なくとも、こういう意見の違いがある中でも住民がどのような状況で、結果としてこれだけの収入未済が上がってくるのかという状況をつかむことについては異論はないわけですよね、議会としても町としても。そのことについていかがでしょうか。

例えば今回の広域連合での介護保険のときに、連合長として町長もおられました、連合独自で認定受けたのに使っていない方々のは、なぜ使っていないかということをつかむということをおっしゃってくれたんですね。それを広域がするんですよ。同じように国保についても税務課等とお話をなさって状況つかんでおられると思いますので、この滞納者の状況と理由について委員会を出していただきたいと思うのですが、町長、いかがでしょうか。そのことを求めたい。

そしたら、まず減免制度つくるかどうか別にして、住民の現状どうなのかというところをつかみたいというところで資料出していただきたいということについていかがでしょうか、町長。これは町長が言わなければ現場が動きませんので、税務課と国保、双方にありますので、いかがでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。そもそもそういうデータが整理されてるのかどうかというと、非常にセンシティブなデータですので、多分滞納徴収に当たっている職員がコンピューター上の中で、ごく限られた人たちが目に触れるような状況の下でその情報を管理していると思います。それをさらに系統別に分けながら、個人情報が出ないように整理することが私の感覚からすれば非常に難しいなと思っています。可能であって、そのような情報の骨格になるものがあるようで

あれば、個人情報漏れるようなおそれがなく、その情報の取扱いに対して十分に配慮されたようなデータがあるのであれば、それは皆さんに見ていただいて御議論の土台にされるべきであろうと思っております。私はあるかどうかということすらも知り得ませんので、この程度の答弁しかできません。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長の答弁は、今のデータ等で個人情報守ってできることがあるのであれば出るだろうということなので、そのことをいわゆる町民生活課と税務課等に指示していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それで、町長、その考え方ですけれども、滋賀県の、私たちが、視察に議会が行きたかったところとちょっと違うところ行ってしまったっていうか、苦い経験があるんですけれども、その行きたかったところのやってみることは、その首長、市長ですけども、市長そのものと担当者が、滞納は一つのサインで、滞納相談に来てくれてありがとうございますというところから、滞納している世帯ないし個人は、このいわゆる公共料金だけじゃなくって様々なところで苦しめられて、生活に悩みを持っていらっしゃる方が多いと、そこを生活改善していきながら公共料金の徴収につなげていき、生活再建もしていくと。これは本来の、私は、そういう意味では職員たちが住民の暮らしに寄り添ったいいやり方だというふうに考えています。それで、まず、町民や町や議員が今の住民の状況を知り得るということもすごく大事なことです、そのことが分かるような資料を出していただくよう求めますので、よろしくお願いいたします。

○議長（景山 浩君） 答弁はよろしいですか。

○議員（13番 真壁 容子君） 出すって言うてくれてるから。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） ないようですので、進みます。

議案第47号、令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第48号、令和3年度南部町墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（景山 浩君） 質疑なしと認めます。

議案第49号、令和3年度南部町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 住宅資金の貸付け事業についても毎年同じことを町長にお伺いしておりますが、お聞きいたします。

この住宅資金の貸付け事業の特別会計を一般会計に繰り込んで、特別会計としての予算決算の分についてはなくなりました。ここでもそうです。いろんな歴史の変遷の中で、結果として収入未済として上がっているのが3つの制度の中合わせて8,500万以上のお金ですね。これを結果として今後一般会計の中で処理していくんですけども、この金額については今後どのようにしていこうというお考えでしょうか。結果として、様子とすれば今までの、今後入ってくる分を返していくことに向けていっていても、なかなかこれ改善策が出てこないと思うんですが、どんなふうにお考えですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。一つのステージが終わったと思っています。それで、新たなステージに向けて考えなくちゃいけませんけれども、実は県の町村会の役もしてるものでして、他町の状況等を聞きましたら、全くこういう問題がない町も、いわゆる額が極めて小さい町もあるし、南部町や近隣の町村でも非常に大きい町と、なかなか共同で力を合わせられない点があるんだなど。元からこういう問題がなかったならともかく、きちんとお返しいただいてシステムとして回っている町があるというところに少し私も驚きました。といっても、八千数百万からのお金があるわけですし、法的な糸口で対応するのか、またはどう……。これはいずれにしても町としてこの問題を投げておくわけにはなりませんけれども、当面の間はこの対応を考えていく、いろんな方面から考えていくしかないと思っています。ここまで長い間、多くの皆さんが工夫を重ね、努力を重ねた結果がこれですので、私どもが今の時代に、ウルトラCの技が出てくるわけでもないと思っていますので、とにかくどう対応していくべきなのかをいろいろな多様な方向から検討していくしかないと思っています。

同時に、これまでどおり国に対しては、これは本来は国家的な問題なんだと、それを自治体に押しつけた国の責任はどうなのかということは、これからも言っていかなきゃいけない問題だろうと思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 毎回同じ答弁が返ってくることを知ってて質疑するというのは非

常に苦しいのですが、これまで万全を期してやってこられたというんですけれども、私は万全を期するというやり方についての不十分さがあったのではないかとこのように考えるのですが、いかがでしょうか。決して、言ってるようにこのお金を全部返せと言ってるのと違うんですよ。中には、今まで担当課のほうの努力で、一覧表見せていただいても、もう返済能力が明らかにない方も含めて残したままで、絶えず借金としているわけですよ。このやり方を何年も続けていいのかということも、町はサラ金会社とか取立て屋ではないのですから、本当に社会保障の立場に立った場合、人権問題を考えた場合、もう生活保護にかかったりしているような方々にこのお金を払えってどだい無理な話なんですよ。そこを行政の中で話し合っ解決する方法を見つけていって、この金額を下げる方法にいくべきではないかと。

だから毎年議会に上がってくる時には増えるの、少し減っていますが、これがこういうことを整理して減りました。ですよ。町長、言ってみれば今回3億幾ら一般会計のお金残っているわけですよ。この8,000万なかったら仕事できんわけじゃないわけですよ、言ってみれば。ただし、公金だから返していただきたいというのもありますけれども、この整理をやっばり長いこと怠ってきたのがあるんじゃないかと私は思っているんですよ。何回も指摘させていただいております。

税金じゃないから不納欠損にできないんですけれども、片やこれを抱えてる側に立ってみたら、ずっと、なかなか資金がないのに払え、払えって町が言うわけですよ。それも酷な話ではないですか。だからそういう意味で、今の法的に見てどうで取れるじゃなくって、法的に見てこの金額をどう処理していくかということを考えていただきたい。そういう立場に立っていただけないでしょうか。集めて返してもらっただけやなくって、生活保護にかかった、もう返済能力がない、次に続けようがない場合、どうするかというところを考えながらこれを減らしていく。いかがでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。先ほども申しましたように、債権には多様な種類があって、私どもが法的な措置でできるものは、これは法的な措置で可能だと思います。今後、法的な措置をかませることで議会に御承認をいただく手法はこれしかないのかどうか、そういうことを十分検討しながらこの最後の始末ということをしたいと思っております。きちんと払い続けている方と払えなかった、払わなかった人との、また不利益が生じないようにということになろうと思っております。現に本当、この前も完済されたということで、頑張あなったなと思っておりました。そういう方がまだ現実におられる中で、私どもがそう簡単に、今、真壁議員が言われるような措置を取って

もいいのか、これはどこでけりつけるだということになると思いますけれども、じっくりと法的な対応を考えていくのか、それともまた別な道があるのか、この辺りをしっかりと検討していく、学習していきたいと思っております。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 言いにくい言い方ですが、町長、町が進まないのはまさしく町長の言っている、払ってる人と払っていない人の不公平があるってこの呪縛にとらわれているから、国保にしても、これにしても救済策が見つからんのじゃないですか。本当の公平感というのは、原則借りたの返すの当たり前だとおっしゃいますけども、返す予定だったのが、世帯主が病気になられた、様々な事情で倒産してしまって収入の当てがなくなった、こういうこともあるじゃないですか。そこで同じように返せって言うのかって、これはやり方ではないですよ。それだったら借りたもん絶対返せというサラ金の世界ですよ、それは。そういう立場に立っていないかって聞いているんですよ。それでは物事が解決しない。だから、全部が全部言って、そんな極端なこと言ってるわけやないんですよ。大きな町じゃないから件数も少ない。状況を見たら相手のことも分かるから、それなりに対する手を尽くしていきながら件数を減らしていくんだということについてお考えいただきたいと思っておりますので、これもなかなか意見が一致しないと思いますが、いつものとおり出していただいておりますので、決算で、いわゆる決算の中にはもう返済能力がない、そういうのも出てくるわけですよ。それ見て議会はと言うかですよ。能力ない者に返せって言えないんですよ。そういうことを出してくる以上は、こういう能力がないのでこうしたいということが出てこんかったら行政の説明にならんと思うんですよ。それを考えて今回も出していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○議長（景山 浩君） 答弁よろしいですね。

○議員（13番 真壁 容子君） 出してくださいと思っております。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第50号、令和3年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第51号、令和3年度南部町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 2 号、令和 3 年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 3 号、令和 3 年度南部町太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 4 号、令和 3 年度南部町水道事業会計決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 5 号、令和 3 年度南部町病院事業会計決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 6 号、令和 3 年度南部町在宅生活支援事業会計決算の認定について、質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 7 号、南部町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 8 号、南部町児童福祉手当支給条例の一部改正について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 9 号、令和 4 年度南部町一般会計補正予算（第 3 号）、質疑はありませんか。

1 3 番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 詳しいことは委員会で聞きますが、ここでちょっと 2 点教えて、2 点ちょっと。

1 点は、今、こちらのほう見ております。これじゃなくって、予算書の……（「事業説明書」と呼ぶ者あり）事業説明書やないです。予算書の中については、7 ページの歳入のところです。民生費国庫補助金が入っております、この中に保育士等処遇改善臨時特例交付金 4 6 9 万 8, 0 0 0 円が入っております。これはどこに該当させているんですかというのと、この種類という

のは何なのか。

なぜここで聞きますかという、私は、先ほど令和3年度の決算のときに質問させていただきました、保育士等の処遇改善臨時特例交付金はこの10月からの分かなと思うんですよ。ここに入ってくるというのは、国から入ってきてますので、民間等にも行く分ですよ。民間等々、このもしかしたら、会計年度任用職員を上げておりますから、この分かなと思ったりするんですけども、その説明をしていただきたい。それで、歳出のところにはちょっと該当するもんがなかったように思ったんです。それでどうなのかというのが1点。

それと、もう一点は、今回行います、今回の補正予算の目玉の、いわゆる商品券の1万円の件なんですよ。これはそういう意味では町単独で、コロナの交付金じゃなくって、それを見込んで一般財源をするという積極的な位置づけについては評価しているものですが、この1万円を支給するのに、商品券だっていうふうに位置づけてるわけですよ。商品券の意義も最初、説明で述べられたように、いわゆる地域の業者に対する経済対策だということも十分分かるんですけども、今までの経験上で、執行部等、行政側もそうですし、住民もそうなのが、一番経費がかからなくて、早いのは現金支給だったのではなかったかと思うんですよ。その辺も十分考慮されたと思うんですけども、これを現金支給にしてほしいということ、必ず商品券が出た場合には、いつも言われますのは、公共料金に使えるようにしてほしいと。なぜか分かりますか、町長。一番しんどいのが公共料金の負担だからなんですよ。商売人への景気対策ももちろん重要ですが、もし商品券を発行すると、現金じゃなくするというのであれば、今回発行する商工会もその分けられないと言わないと思うんですよ。一般財源でしていますからその辺は可能ではないかと思うんですが、公共料金にも充当させることをお考えになるということについての答弁をお伺いしたいと思います。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。私から町民1人当たり1万円のその意図について、詳細についてはまた担当課長のほうから説明すると思います。

冒頭の御挨拶で申し上げましたとおり、非常に厳しい状況が続いています。今のドル円レート144円の影響出るのは3か月後、4か月後だといいますんで、お正月を過ぎたあたりのところから、もう大変な状況が生まれるんじゃないかということを心配しています。

農業の問題や酪農もそうですよね。昨日だったですか、今朝だかテレビでやっていました。牛を手放すとか、この仕事をもう辞めざるを得ないのか、そのような非常に厳しい状況が私たちの身近でありますし、一方では、私たちは消費者として、例えば牛乳一つであっても、少し上がっ

てもやはり牛乳を飲もうと、またはお米を少し高くても買おうと、そういうことがその地域の農業を守ったり、産業を守ったり、人々の暮らしを守ることにつながるといふことにもうちょっと目を向けていただきたいという気持ちで今回配布します。

手間もかかりますし、お金もかかる、無駄なお金もあると言いつつも、例えば林産物であっても、まき一つでもお金になると思います。その上のまきを軽トラに積んで4万円、5万円であれば、じゃあ、私が町内のそこからまきを買って、今年はまきストーブをする、それで賄うわという気持ちになっていただければ、町内の木材が町内でお金に換わって、そしてそのお金をまた町内でぜひまた使っていただけましたら、循環をしていく、お金はどこに飛んでいくか分からないものです。ですからあえてこうやってそのお金に用途、町内ということに限ることによって、お金の町内循環をあえてお願いしているところです。

一つの課題は、個人事業者の皆さん、今言ったような林産物、こんなことをそんなことまでしたくないわという方や、お米の農家の方が今までそういう、あんまり販売ということなかった人にぜひ手を挙げていただいて、企画政策のほうの一覧表の中に入れていただければ、たとえ、私もこの頃、米を買う側の立場になってますけども、町内の米を買うことによって、町内でお金が回る、そういう仕組みを、町内の1万人の皆さんが動き出せば、これは大きな力になると思いますので、ぜひ、不合理だと重々承知しながら皆さんに御理解いただきたいと思っています。

○議長（景山 浩君） 子育て支援課長、芝田卓巳君。

○子育て支援課長（芝田 卓巳君） 子育て支援課長です。歳入のほうの469万8,000円につきましては、12ページのほうの保育園費に430万9,000円充当しております。残りの額につきましては、民のほうへの支出という具合かと思えます。ちょっとそこの辺の詳細が今、手元にありません。申し訳ありません。以上です。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長、この1万円の商品券の、おっしゃることがよく分かるし、なるほど、地域内循環に向けて様々な取組したいということではなさるんだろうなということも、私も重々承知しているわけですが、御存じのように今までのあの商品券の使われ方を企画のほうに問うて、委員会でも聞いたときに、7割から8割がいわゆる大手スーパー、いわゆる今の阿賀周辺の3つの商業施設に落ちていくわけですよ。何とか地域で回そうという方は、あの使い方というのは、今まではこのガソリン代にして地域で使うとか様々な工夫、みんなも考えて工夫してるんですけども、やはりもう消費行動がそうになっていますから、そこに行っちゃうわけですよ。商工会の方も努力されると、よっぽど地域内循環、それも地域内循環じゃないというような、

そこに町内の方働いてるから、それはそれであると思うんですけども、町長のおっしゃるようなことを本当に実現しようと思ったら、よっぽどアピールすることと、参加をしやすくすることと、利用するという仕組みをつくっていかねばいけないと思うんで、これは商品券を出すからといって、一朝一夕にできるもんじゃないと思うんですよ。

それを考えた場合には、やはり町長の思いも十分分かるんですけども、住民の方が言っている、住民の選択肢を増やすという一方で、今回は本当は現金のほうがいいんだけども、町長がどないしても、商品券でできたら開発したいと、そこで地域内循環したいということも含めて商品券するけれども、住民が使うということについては、公共料金等についても充てさせてほしいことについては可とするというようなことは考えれんのでしょうかね。全部が全部貴重な町のお金を町長が、これからの生活大変だという町民の思いに至ったということについては、住民も喜ぶし、私たちが評価してるところなんですよ。

ただ、住民の声は、多くは何に困ってるかというのと、公共料金の負担が大変で困って、一番は下げてほしいんですよ。商品券を出す、出して使うから公共料金下げるということを考えましょうか、そしたら。何らかの形しなければ乗り切れないと思っております。1万円を出すとしても、再度公共料金の引下げは考えられますか。それもちょっとお聞かせください。（発言する者あり）うん、考えましょうか。議会からも出ております。そしたら今回の商品券は出るけど、公共料金下げるけんねって説明しますけん。どうでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。ひとまず今回、経済対策として、これから秋から冬、正月明けて来年の春までの暮らしを支えるという意味で、緊急対策が必要だろうという判断をしました。私の思いでは、9月中にも経済対策の次の対策を、多分政府は打ってくるだろうと思っています。その中を見ながら、また議会の皆さんとも相談しながら、いいアイデアがあればまた御提示いただきたいと思います。その中で、次の対策の中で一つに公共料金ということの選択というのはあると思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長が最後に言われました公共料金を下げることでですね、本来、私は、第一義的には、国が抜本的な、爆発的なお金を使って救済策を取らなければ、国民の生活が守れんというふうに思っています。

先ほどの決算等でも出ましたけれども、例えば法勝寺庁舎、天萬庁舎の経費が上がったのは電気代なんですよ、見たら。そうでしたね。公的な立場を、公的なお金使ってるから300万だ

ろうが払えるんですよ。ところが、住民の方は、今回出た7,000円でしたっけ、あのお金がなかなか出なくて、1か月電気代を滞納してしまったと、いつ出るんかということを経験の方が電話かけてこられる。恐らく福祉事務所にも同じように電話もかかってきていると思うんですけども、私は、住民の暮らしは私たちが思っている以上に大変だということを実感しています。

今後、この見通しが不明な中では、この商品券出てくることに住民が期待すると同時に、どういふ声があるかということも頭に入れてもらいまして、公共料金等の引下げで住民の暮らしを守っていただけるようにしていただきたいというのと、町長はじめ執行部の皆さんが、住民の暮らしがどのような状況にあるのかということをあらゆる機会で見つけようとする努力をしていただきたいと、そのことを言いまして、質疑終わります。

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前11時19分休憩

.....

午前11時19分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

ほかに質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（景山 浩君） 議案第60号、令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第61号、令和4年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第62号、令和4年度南部町病院事業会計補正予算（第1号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 以上をもちまして本日の日程の全部を終了いたしました。

これをもって本日の会を閉じたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 御異議なしと認めます。よって、本日の会議はこれをもって散会といた

します。

また、12日は定刻より一般質問を行う予定でありますので、御参集をお願いいたします。お疲れさまでした。

午前11時20分散会